

第155回女川原子力発電所環境保全監視協議会資料

令和2年度第2四半期環境試料の核種分析結果（17ページ）の訂正について

陸士のCs-137において平成23年度～令和元年度の最大値に誤りがあったため訂正するもの。

表－2－5 環境試料の核種分析結果\*1

【訂正後】

対象物	試料名	核種	令和2年度第2四半期測定値		前年度までの測定値*2				単位				
			試料数	最小値	～	最大値	平成22年度～平成23年度			平成23年度～令和元年度			
							最小値	～		最大値	最小値	～	最大値
農産物	精米	Sr-90								Bq/kg生			
		Cs-137											
	大葉	Cs-137	1		0.080						Bq/kg生		
		根	Cs-137	1		N D					Bq/kg生		
陸水	水道原水(飲料水)	H-3	2		N D					mBq/L			
		Cs-137	3		N D								
陸土	未耕土	Sr-90								Bq/kg乾土			
		Cs-137											
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14		N D					mBq/m <sup>3</sup>			
指標植物	ヨモギ	Sr-90	2	0.18	～	0.25	0.065	～	1.00	0.029	～	0.54	Bq/kg生
		Cs-137	2	0.29	～	0.84	N D	～	0.17	0.29	～	40.1	
	松葉	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137	1		0.95								
魚介類	アイナメ	Sr-90	1		N D							Bq/kg生	
		Cs-137	1		0.12								
	マガキ	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137											
	マボヤ	Sr-90	1		N D								Bq/kg生
		Cs-137	1		N D								
	エゾアワビ	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137											
	キタムラサキウニ	Sr-90	1		0.048								Bq/kg生
		Cs-137											
海藻	ワカメ	Sr-90										Bq/kg生	
		Cs-137											
海水	表層水	H-3	2		N D							mBq/L	
		Sr-90											
		Cs-137	2		N D								
海底土	表層土(砂)	Sr-90										Bq/kg乾土	
		Cs-137	2		N D	～	16.9	N D	～	2.6	N D		～
指標海産物	アラメ	Sr-90	1		0.046							Bq/kg生	
		Cs-137	3		N D	～	0.080	N D	～	0.16	N D		～
	エゾノネジモク	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137											
	ムラサキイガイ	Sr-90	1		N D								Bq/kg生
		Cs-137	1		N D								

\*1 この表にはCs-137、Sr-90及びH-3の値のみを示す。また、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエゾノネジモクの測定値は含まない。なお、N Dは検出されなかったことを示す。  
 \*2 福島第一原発事故の前後に分けて表示した。  
 \*3 平成11年度の測定基本計画変更によって測定地点が谷川1地点となったため、精米の平成22年度～23年度の測定値の範囲は谷川における値を示す。  
 \*4 平成21年度の測定実施計画変更によって測定地点が変更となったため、平成21年度～22年度の測定値の範囲を示す。  
 \*5 平成11年度の測定基本計画変更によって試料が追加されたため、平成11年度～22年度の測定値の範囲を示す。  
 \*6 令和元年度の測定基本計画変更によって試料が追加されたため、令和元年度の測定値の範囲を示す。

表－2－5 環境試料の核種分析結果\*1

【訂正前】

対象物	試料名	核種	令和2年度第2四半期測定値		前年度までの測定値*2				単位				
			試料数	最小値	～	最大値	平成22年度～平成23年度			平成23年度～令和元年度			
							最小値	～		最大値	最小値	～	最大値
農産物	精米	Sr-90								Bq/kg生			
		Cs-137											
	大葉	Cs-137	1		0.080						Bq/kg生		
		根	Cs-137	1		N D					Bq/kg生		
陸水	水道原水(飲料水)	H-3	2		N D					mBq/L			
		Cs-137	3		N D								
陸土	未耕土	Sr-90								Bq/kg乾土			
		Cs-137											
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14		N D					mBq/m <sup>3</sup>			
指標植物	ヨモギ	Sr-90	2	0.18	～	0.25	0.065	～	1.00	0.029	～	0.54	Bq/kg生
		Cs-137	2	0.29	～	0.84	N D	～	0.17	0.29	～	40.1	
	松葉	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137	1		0.95								
魚介類	アイナメ	Sr-90	1		N D							Bq/kg生	
		Cs-137	1		0.12								
	マガキ	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137											
	マボヤ	Sr-90	1		N D								Bq/kg生
		Cs-137	1		N D								
	エゾアワビ	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137											
	キタムラサキウニ	Sr-90	1		0.048								Bq/kg生
		Cs-137											
海藻	ワカメ	Sr-90										Bq/kg生	
		Cs-137											
海水	表層水	H-3	2		N D							mBq/L	
		Sr-90											
		Cs-137	2		N D								
海底土	表層土(砂)	Sr-90										Bq/kg乾土	
		Cs-137	2		N D	～	16.9	N D	～	2.6	N D		～
指標海産物	アラメ	Sr-90	1		0.046							Bq/kg生	
		Cs-137	3		N D	～	0.080	N D	～	0.16	N D		～
	エゾノネジモク	Sr-90											Bq/kg生
		Cs-137											
	ムラサキイガイ	Sr-90	1		N D								Bq/kg生
		Cs-137	1		N D								

\*1 この表にはCs-137、Sr-90及びH-3の値のみを示す。また、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエゾノネジモクの測定値は含まない。なお、N Dは検出されなかったことを示す。  
 \*2 福島第一原発事故の前後に分けて表示した。  
 \*3 平成11年度の測定基本計画変更によって測定地点が谷川1地点となったため、精米の平成22年度～23年度の測定値の範囲は谷川における値を示す。  
 \*4 平成21年度の測定実施計画変更によって測定地点が変更となったため、平成21年度～22年度の測定値の範囲を示す。  
 \*5 平成11年度の測定基本計画変更によって試料が追加されたため、平成11年度～22年度の測定値の範囲を示す。  
 \*6 令和元年度の測定基本計画変更によって試料が追加されたため、令和元年度の測定値の範囲を示す。